

2022年5月10日

報道関係者各位

株式会社ニュースダイジェスト社
愛知県機械工具商業協同組合

**産業用ロボット・自動化システムの専門展「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN2022」
事前来場登録とセミナー聴講予約の受け付けを本日開始**

株式会社ニュースダイジェスト社（名古屋市千種区、代表取締役社長・樋口八郎）と愛知県機械工具商業協同組合（理事長・水谷隆彦）は2022年5月10日、産業用ロボットと自動化システムの専門展「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN（ロボットテクノロジージャパン、RTJ）2022」の事前来場登録の受け付けを開始しました。RTJ2022は今年6月30日（木）～7月2日（金）に愛知県常滑市の愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo、アイチ・スカイ・エキスポ）で開かれます。事前来場登録をすると、入場料金（通常1000円）が無料になります。公式ウェブサイト（<https://robot-technology.jp>）で受け付けております。

同日に、会場内の主催者ステージで開催するセミナーの聴講予約の受け付けも開始しました。

会期初日の6月30日（木）は「これからのロボットの使い方」と題し、国内外の大手ロボットメーカー4社や経済産業省の代表者が語り合います。

2日目の7月1日（金）には、FA・ロボットシステムインテグレータ協会が主催で「SIer's Day in 愛知」を開きます。SIer同士や、SIerとロボット導入を検討する企業が交流を図るイベントで、中小製造業を中心とした具体的な導入事例や中部地方を代表するSIerなどを紹介します（※申し込みは同協会の特設サイト<<https://www.robo-navi.com/webroot/siersdayapplication/133.php>>から）。

3日目の7月2日（土）には「新分野に学ぶロボット活用術」と題し、農作業や宇宙での作業にロボットを適用するベンチャー企業が登壇します。過酷な環境でロボットを使うベンチャー企業の取り組みから、製造業や物流現場における次世代の自動化を実現するヒントを探ります。

各セミナーとも無料で定員は240人。事前登録制で申し込みは先着順です。

【RTJ2022とは】

RTJ2022は今回が初開催の産業用ロボットと自動化システムの専門展。出展者は199社で、1093小間（4月25日時点）の規模を予定しております。産業用ロボットや自動化システムの展示会としては、西暦の奇数年に東京で開かれる国際ロボット展（iREX）に次ぐ国内で2番目の規模です。

ロボットメーカーはもちろん、ロボットハンドやセンサーなどの周辺機器、無人搬送車（AGV）、計測システムなど、自動化に関わる幅広い分野の企業が出展します。

また、ロボットの現場への設置やシステム構築を担うシステムインテグレーター（SIer、エスアイアー）が集まる「SIerゾーン」を用意しました。同ゾーンでは、実践的で現場の用途に近い「ロボットの使い方」の展示が見込まれ、より具体的な導入イメージを描ける場になるでしょう。

それだけでなく、工作機械をはじめとした大手産業機械メーカーなども多数出展しており、産業機械や機器と産業用ロボットが連携した実用的な自動化システムの展示も注目です。

【セミナー概要】

●6月30日（木）

スペシャルセッション「これからのロボットの使い方」

時間：13:30～14:50

登壇者：ファナック 専務執行役員 ロボット事業本部長 稲葉清典 氏

安川電機 代表取締役専務 ロボット事業部長 小川昌寛 氏

デンソーウェーブ 執行役員 FA プロダクト事業事業部長 神谷孝二 氏

ABB 代表取締役社長 兼 RA 事業本部長 中島秀一郎 氏

経済産業省 製造産業局 産業機械課 ロボット政策室長 大星光弘 氏

司会：産業用ロボット専門ウェブマガジン「robot digest（ロボットダイジェスト）」編集長 八角 秀

●7月1日（金）

「SIer's Day in 愛知」

時間：13:00～16:00

主催：FA・ロボットシステムインテグレータ協会（SIer 協会）

プログラム：「開会挨拶」 SIer 協会 会長 久保田和雄 氏

「ロボット導入を成功させるためのポイント」 SIer 協会 会員企業

「ロボット導入事例紹介」 杉松産業

「SIer 協会の紹介」 SIer 協会 事務局

「SIer 企業紹介」 SIer 協会 会員企業6社

「ロボットSIリーグの紹介」 愛知県

「ロボット関連施策紹介」 経済産業省 中部経済産業局

「閉会挨拶」 SIer 協会 地域連携分科会 主査 鷗野政人 氏

※申し込みは同協会の特設サイトから

<https://www.robo-navi.com/webroot/siersdayapplication/133.php>

●7月2日（土）

特別セミナー「新分野に学ぶロボット活用術」

講演①：10:30～11:15

「自動ミニトマト収穫ロボット」

inaho 代表取締役 COO 大山宗哉 氏

講演②：11:30～12:15

「宇宙船外汎用作業ロボット」

アストロスケール 創業者兼 CEO 岡田光信 氏

●開催場所：会場内 D ホール「主催者ステージ」

●聴講料金：無料

●申し込み方法：公式ウェブサイト（<https://robot-technology.jp>）セミナーページから受け付け

●定員：各セミナーとも 240 人（先着順）

【開催概要】

- 名称：ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2022
(ロボットテクノロジージャパン 2022、略称 RTJ2022)
- 会場：愛知県国際展示場 (Aichi Sky Expo、アイチ・スカイ・エキスポ)
- 開催期間：2022年6月30日(木)～7月2日(土)の3日間
- 開催時間：10:00～17:00
- 主催：株式会社ニュースダイジェスト社
- 共催：愛知県機械工具商業協同組合
- 対象出展製品：垂直多関節・水平多関節・パラレルリンク・直交・協働ロボット、ガントリーローダー、無人搬送車 (AGV)、自動倉庫、その他搬送機器、各種ハンド、ロボット構成部品、周辺機器、各種センサー・制御機器、ソフトウェア、AI・IoT 関連装置およびシステム、ロボット搭載機械・装置、自動化技術提案など。
※サービスロボットは対象外です。

【株式会社ニュースダイジェスト社について】

創業：1964 (昭和 39) 年 3 月 設立：1968 (昭和 43) 年 5 月
代表者：代表取締役社長 樋口 八郎 (ひぐち・はちろう)
資本金：2,000 万円
従業員：23 名
本社：〒464-0075 名古屋市千種区内山 3-5-3
ホームページ：<https://www.news-pub.co.jp>
概要：1964 年の創業以来、工作機械の専門誌「月刊生産財マーケティング」を中心に FA 業界向けの図書を出版。2018 年には産業用ロボットに特化したウェブマガジン「robot digest」を創刊。

【愛知県機械工具商業協同組合について】

設立：1949 (昭和 24) 年
代表者：理事長 水谷 隆彦 (みずたに・たかひこ＝ミズタニ機販株式会社 代表取締役社長)
組合員：221 社 賛助会員：105 社 (2022 年 4 月現在)
所在地：〒456-0032 名古屋市熱田区三本松町 16-8
ホームページ：<http://www.aikiko.or.jp>
概要：愛知県内に所在する機械工具 (工作機械、産業用ロボット、自動化システム、周辺機器、工具、測定機器など) 商社の協同組合。情報共有や勉強会、若手経営者の育成と交流に力を入れる。
以上

本件に関する問い合わせ先

株式会社ニュースダイジェスト社 ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 事務局 担当：平野、西塚

Tel: 052-732-2455 Fax: 052-732-2457

公式ウェブサイト：<https://robot-technology.jp>

e-mail：info@robot-technology.jp